

本殿

170781097 三輪政宗

内側の拝廊から本殿に入ると、注意を引く最初のもは、教会自体から独立した作品であるかのように見えるドームの素晴らしさです。ドームの中央には40の窓があり、ビザンチン時代のイエス・キリストの絵がある。

征服後、絵はコーランの詩で覆われました。ドームを四隅のアーチの間に置かれた三角の穹隅の上に、3つの翼を持つ天使ケルビムの絵がある。天使たちの顔、それは11メートルの長さがあり、ライオン、ブル、鷹、天使の形をしており、それぞれが1つの多角形の星で覆われている。

9世紀のコンスタンティノープの総主教イグナシウス、4世紀の総主教であるジョン・クリストム、および2世紀のアンティオキアの総主教イグナシオ・サフィロスは、入り口の左側の窓の下の側壁に見られる。入り口の左右に置かれた1.250リットルの巨大な大理石の容器は、16世紀に古代都市ペルガモンから運ばれた。